

農協と組合員をつなぐ広報誌

# なかしゅんべつ



## 子供から大人まで一緒になって汗を流した「豊原地区運動会」

子供達の一所懸命に走る姿に大人達も負けじと競技に臨みました。会場からの「負けるな！」の声援を背に、童心に返って若き酪農家の仲間と真剣に100m走で汗を流し、お互いの健闘を称えました。

  
JA中春別

# 7月号

2015 Vol. 450



# 地域一丸となつて次世代に 繋ぐ中春別酪農を築こう

第41回中春別農業協同組合通常総会が6月4日、農業者団地センターで開催されました。

総会に先立ち優良組合員、乳質改善・良質乳生産組合員、経営移譲感謝状授与者、永年勤続職員の表彰授与が行われました。

開会にあたり小湊組合長より「国内の近況でございませぬが、わが国の経済はデフレからの脱却を課題に掲げ、積極財政・金融の量的緩和・成長戦略を打ち出しながら、円安・株高基調の中、国内経済は徐々に回復の傾向と言われておりますが、私ども地方に住む者にとっては、まだまだその実感は薄いものでございます。農業を取り巻く情勢でございませぬが、政府においては、情報開示や幅広い国民的な議論の無

い中、TPP交渉を進めており、その行方によっては、酪農畜産業への影響も大変憂慮されるところであります。

## TPP交渉から 北海道農業を守り抜く



開会挨拶と抱負を述べる小湊組合長

す。本日、本総会の中で、TPP・国際貿易交渉から北海道を守り抜く決議を、再度提案をさせていただきます。第一次産業を基幹産業とす

る当地域の経済・社会全体の衰退を招くことになる妥協する交渉は、断じて容認できるものではありません。毅然として衆参両院における決議の遵守並びに情報の開示を求め、断固とした運動を展開する必要があります。

昨年、6月に閣議決定された農協改革は農業の競争力強化と成長産業化を実現させる目的のため、企業の農業経営や農業関連事業への参入促進を図るべく、全農の株式会社化・中央会制度の見直しなど農協改革に関する意見を提示しました。これを受け、JAグループ北海道は自己改革プランを進めるべく、組合員組織討議を実施し、多くの提案・意見をまとめ、農協改革は自





中春別農業協同組合通常総会

佐藤専務理事より出席者の皆様へ説明がされました



らの意志で行うことを基本に計画指針を策定したところでもあります。この事につきましても本日、本総会におきまして、農協改革に関する決議を提案するところでもあります。

ここ近年、道内の酪農畜産農家は諸情勢に対する先行きの不安から営農離脱が増加しており、生産基盤のみならず、地域形成にも危

機的な状況となっており、この酪農畜産環境を開すべく、昨年8月、根釧地区の各自治体・各JA・振興局が一堂に会し、将来に渡り根釧酪農が維持・拡大を図るべく、課題整理と将来の方向性を共有し、必要な振興対策を取り組むことを目的としながら、新たな根釧酪農構想検討会議が立ち上げられ、次世代に繋げていく根釧酪農ビジョンを策定したところでございます。

こうした中、平成27年度の酪農畜産価格並びに経営安定対策につきましましては、加工原料乳生産者補給金単価が10銭引き上げの12円90銭となり、新規に創設された乳房炎対策・用途別加工乳と併せますと、補給金換算で前年度並みの13円25銭相当となりました。さらには北海道向けの酪農生産基盤強化対策として総額4億円が措置され、交付対象数におかれましては2万トン削減の178万トンで決定

をされました。一方、用途別原料乳価格はプール価格で3円60銭の引き上げとなり、生産意欲にはプラスとなり、ましたが、円安等に伴います、配合飼料を始め、各種の生産資材の高騰といった不安要素がある事から、状況に応じては迅速に対策を講ずる事が重要だと認識してございます。

**豪雪の中、生乳生産に取組まれた組合員に敬意と感謝。酪農、漁業の共存共栄**

昨年度、当地区の収穫期は天候にも恵まれて、1番草・2番草共に順調な作業で終えることが出来ま



議長に豊原地区・渡邊寛氏、美原地区・浮川優氏が指名されました

した。しかしながら、厳冬期における幾度の暴風雪により、管内は記録的な大雪にみまわれ、当地区においても施設倒壊などの被害が発生しております。被災に遭われた組合員には改めてお見舞いを申し上げます。平成26年度の当地区内生乳生産実績は11万5024トンで前年対比100.24%でございました。搾乳戸数の減少や予期せぬ自然災害による被災の中、現場において組合員の皆様を始めご家族が一丸となつて生乳生産に取り組まれたそれぞれの日々に対しまして、心から敬意を表するとともに、感謝を申し上げる次第でございます。

第8次生乳安定生産対策は、生産基盤維持・拡大のため、1年間延長されまして、全道の一律の伸び率の目標も103%と設定をされており、当農協も出来る範囲で諸対策を講じて参りますので、目標数量に近づけるべく、達成を切にお願いいたします。

近年、酪農環境問題が表

面化される中、酪農と漁業が将来にわたりまして共存・共栄できる社会を作るために、別海町畜産環境に関する条例が昨年4月に別海町より施行され、規制部分は3年間の猶予期間が措置されており、この期間中に組合員個々の施設環境を確立する必要がある、現在、国営環境保全型灌漑排水事業も進められ、予算増額の中、計画以上に施設などが設置されており、併せて、昨年の総会においてご承認をいただきましたバイオガスへの出資でございますが、この事業への参加、また、利用をしながら未整備施設の解消に向け活用されますようお願いを申し上げます。平成26年度のJAの事業成果につきましては、生乳・個体合わせた総販売高が129億8300万円と計画以上の実績を挙げることができました。これもひとえに組合員とご家族皆様方の日頃の弛まない努力とJA事業へのご理解、そしてご利用の賜物と深く感謝する次第でございます。後ほど、議案の



中でご説明いたしますが、盤石で強固な財務基盤の確立のため、内部留保に向けてとともに、出資配当をご提案させていただきます。組合員の皆様には、ご理解を賜りたく、お願いするものでございます。

## 組合員あつてのJA、そして健全なJA

農業経営にとって厳しい環境の元ではありますが、組合員あつてのJAであり、健全なJAであつてこそ組合員の支援もでき得ると思つておりますので、より一層のJAの結集と、そしてJAの利用について改めてお願いを申し上げます。貿易交渉の進捗状況・為



大山常務理事より説明がなされました



替相場の動向など、急激な変化が将来に向けて不安視をされておりますが、中春別地域畜産クラスター協議会を中心とする関係組織のそれぞれの役割発揮と、各営農支援組織が共通の目的意識を持ち、収益力向上に向け積極的に推進して参り

ます。本年度は第9次中期経営計画の最終年であることから事業遂行・達成はもちろんの事、改めて期間中の各事業の検証を行い、成果と課題を整理し、次期第10次の経営中期計画と新たな地域振興計画の樹立に向け、組合員皆様と意思疎通を図りながら組み立てて参りますので、ご理解とそしてご協力の程を重ねてお願い申し上げます。結びになります。行政をはじめ、系統連合会並びに各関係機関に対しまして、今後ともより一層のご指導とご支援を心からお願い申し上げます。本總會にあたりましての挨拶とさせていただきます。」

と挨拶がありました。

引き続き北海道根室振興局産業振興部長・松永靖氏、別海町副町長・佐藤次春氏、JA北海道中央会根釧支所支所長・平田靖氏よりそれぞれ挨拶をいただき



乳質改善・良質乳生産組合員表彰者・佐藤孝徳氏



優良組合員表彰者・島崎清氏



乳質改善・良質乳生産組合員表彰者・北村昭氏



乳質改善・良質乳生産組合員表彰者・奥山明範氏



ました。

議長には豊原地区・渡邊寛氏、美原地区・浮川優氏が指名され議事に入りました。議案第1号平成26年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案及び注記表の承認から議案第6号役員報酬の支給について提出された全議案可決承認され、併せて「農協改革に関する決議」と「TPP等国際貿易交渉から北海道を守り抜く決議」の特別決議を総会参加者全員の賛成により決議されました。

**組合員・農協が一体となつて進んでいこう**

閉会にあたり藤倉副組合長より「昨夜は、雨ということとで牧草にとっては恵みの雨だったのかなと今思っております。組合員の皆様におかれましては毎日の搾乳、また、飼養管理などでお忙しい中ご出席いただき、また1番草の収穫を目の前に今年の牧草収穫も5日程早いと言われております。そんなお忙しい中ご出



席いただきました。誠にありがとうございました。議案第1号から第6号、また、報告事項2項、それから特別決議であります農協改革問題、またTPP等交渉から北海道を守り抜く決議まで全件ご承認いただいたことに厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。

また、議事の円滑な取り進めをしていただきました。本総会に出席いただきました来賓の皆様には、ご多忙の中出席いただきましてありがとうございます。日頃より当組合事業運営に賜っております。酪農を取り巻くいろいろな問題、課題が多い昨今でございます。組合員、農協が一体となり時代とともに前に進んでいく所存でございます。行政を始め系統機関の皆様、今後とも変わらぬご支援ご指導宜しくお願い申し上げます。今年度も経営環境の変化、諸情勢に対する先行き不安ながらも農協の総合力を最大限に発揮しながら組合員の営農と生活を守ることを第一に考えておりますので、共に力を合わせまして前に進むものではありませぬか。

また、今年度は中期経営計画の最終年であり、成果・課題を整理しながら第10次の中期計画書を組合員と共に策定するとともに、畜産クラスター事業を取り入れた生乳生産の増と収益向上に向け、組合員一人ひとりの技術を共用し、所得の確保に務めてまいりたいと今、思っている所でございます。日々の事、1年後、10年後の目標に向かって組合員、農協が一つになり、共に頑張りたいと思つている所でございます」と挨拶がありました。

**平成26年度**

**優良組合員表彰者**

島崎 清

**乳質改善・良質乳生産組合員表彰者**

**員表彰者**

佐藤 孝徳

奥山 明範

北村 昭

**経営移譲感謝状授与者**

門間 正夫

佐々木善直

**永年勤続職員表彰者(30年)**

平間 健司

池田喜久夫

**永年勤続職員表彰者(20年)**

塩沢 奈緒美



経営移譲感謝状を受取る後継者・佐々木克典氏





## 家族経営で生乳出荷1000t目標 時間に余裕のある経営を確立したい

豊原地区・久保牧場後継者 **久保 光大**さん(28歳)

今日は、豊原地区の久保牧場の後継者・久保光大氏に取材を受けていただきました。

### 久保牧場の始まりと歴史

祖父・義治さんは、空知郡芦別市の水田農家の次男として生まれ、25歳のときにパロットファーム入植者募集の話聞き、昭和32年度に現在の豊原地区に入植しました。

入植時に配当された土地は、傾斜地が多く収穫作業など苦勞の連続でしたが、入植してから16年後の昭和48年に現在地の久保牧場の場所に移転し、D型で牛を飼いながら、自分達でこつこつと牛舎の建設を行い、48頭が飼育できる環境を築きました。

父・義則さんは、大学卒業後、草地の取得をきっかけに規模拡大に力を注ぎ、48頭牛舎から育成舎を改造し、60頭搾れる牛舎を完成させました。平成5年には義治さんから義則さんに経営移譲がされ久保牧場の第2章がスタートし、平成18年には、



さらに20頭搾れる80頭牛舎に改築し、順調に乳量を伸ばして行きました。

ちよほど久保牧場が規模拡大に力を入れている昭和61年の10月に光大さんが誕



JA中春別共進会で愛牛をリードする光大さん

つて行くうちに、いつの間にか一緒に牛舎で作業するようになりました。

中学生になる頃には、久保牧場の3代目になるのだらうと、自分の中で決めていました。乳牛に対してのイメージが牛乳を生産する動物としか認識がなく、その当時はあまり牛が好きじゃなかったそうです。

しかし、大学時代にその考え方を180度変える出来事がありました。それは、大学の夏休みに農家実習で受入れをしてくれた山田牧場の山田敏明さんとの出会いでした。今まで、乳を出す動物だった乳牛から、牛の一生をいかに酪農家が手助けして、組み立てて行くのかなど、

生しました。光大さんは、小さい頃から父や祖父が運転するトラクターに乗るのが大好きで、小学校に上がる頃には、父や祖父の横で作業を見て、遊び感覚で牛舎作業や機械の扱い方などや

今まで酪農家中心の考え方から、乳牛の一生を良くするために手助けをする考え方に感銘を受け、大学卒業後、そのまま山田牧場で1年間研修に入り、酪農家としての考え方や乳牛

の管理、周りの人とのつながりの大切さなど、酪農家として芯となる部分を教わりました。翌年には、最先端の技術を勉強するために、カナダ・オンタリオ州のジレット牧場で1年間研修し、平成21年5月に久保牧場の3代目として就農しました。就農後、様々なトラブルが起こりましたが、仲間の酪農家や農協などたくさんの人に助けられ、現在では100頭繋ぎの牛舎を新築。また、かねてより交際を続けていました絵理さんと平成26年9月に結婚され、仕事に私生活にと充実し、



青年部で仲間と一緒に手づくりハンバーガーに挑戦

3代目としてますます飛躍を続けております。

### 酪農の面白さ・辛さ

「単純に牛と機械が好きなので、乳牛の管理や機械の整備など日常の作業に面白さを感じている。後は、人と人の繋がりで、助けられることや情報を共有したり、まわりの人との繋がりがから教わることも多く、常に家族や農協職員や業者に支えられて成り立つ酪農に面白さを感じている。辛さについては、いろいろとやりたいことが多いので、時間が足りないことくらいかな」と酪農の仕事について話してくれました。

### 休日の過ごし方

「ここ3年くらいは、基本的に妻と旅行に行く以外に休みを取ることはほとんど無く、年に数回ある妻との旅行を楽しみに仕事に励んでいます。仕事の合い間には、妻と食材の買出しに出掛ける以外は、牛舎作業が終わるとD型で車の整備や機械の手入れをすることが多いかな」。



いつも笑顔を決すことなく農作業に汗を流します

### これからの目標については

これからの目標については、「家族経営で生乳出荷1000tを目標に、作業の省力化や牛の管理など時間に余裕ができる無理のない経営スタイルを確立させたい」とこれからの目標を教えてくださいました。

### ＜久保光大プロフィール＞

1986年10月30日久保牧場の1男2女の長男として生まれました。2007年帯広畜産大学を卒業後、1年間幕別町の山田敏明牧場で研修後、カナダ オンタリオ州ジレット牧場で1年間、最先端の乳牛を実際に見てさまざまなことを学び、帰国した2009年に久保牧場の3代目として就農し現在に至る。



# 日頃の農作業の悩み、問題点などをグループで討論

## 青年部勉強会

今回、青年部（兼松真武部長）では新たな試みとして講師をたてないで、各部員が持っている考え方や疑問に思っていることや問題などを経営分析や乳検データを活

用しながら各グループで討論を行い、各グループの見解を部員達に発表する勉強会を6月2日(火)に開



いろいろな悩み、問題点が出され活発なディスカッションとなりました



グループで出された意見を発表する相澤交流部会長

催いしました。始めは戸惑う部員もいましたが、先輩部員がリードして、勉強会が進められました。各グループで問題の捉え方も様々で、たくさん問題が上げられました。が、共通して出てきた問題点については「乳量を上げる飼料設計をして、乳量は上がっているが、乳房炎や疾病が以前より増え、治療してもすぐ再

## 若き酪農家の率直な意見を聞きたい

JA地区青協・ホクレン意見交換会

青年部（兼松真武部長）では、6月5日（金）に地区青協とホクレン中標津支所で開催された意見交換会に、当青年部から兼松部長、野矢副部長、千葉副部長が出席しました。

意見交換を始める前に、ホクレンの各担当部署から現在行っている事業や今後予定している取組みについての説明が行われ、その後、意見交換が行われました。

意見交換では、「事前に用意した質問事項については、後日書面で報告をするので、集まった部員の率直な意見が知りたい」と、市村所長の意向で、各地区の青年部からダイレクトな質問が飛び、充実した意見交換となりました。



ホクレンの事業と取組みにきたんの無い建設的な意見が飛び、貴重な交換会となりました



発する状態が続いている」、「親との作業方法や乳牛管理方法についてのなかなか統一がむずかしいこと」、「今後の施設投資のタイミング」といった悩みを抱えている部員が多く、今回の限られた時間の中で

問題の解決まではいきまませんでしたが、出てきた問題点を次回の勉強会の議題として取組みを続けて、青年部員同士で問題が解決できる体制作りにつなげていきたいと考えてます。



「いつもの牛乳より美味しい！」と  
ご好評をいただきました

例年、青年部、女性部合同事業により新千歳空港東急百貨店において消費拡大運動「牛乳・乳製品無料試飲・試食会」を開催しておりましたが、本年より農協主催開催となりました。例年通り青年部、女性部の協力をいただき運動展開の運びとなりました。

当日は平日開催とのこともあり人の流れが悪く、牛の着ぐるみが空港内を練り歩きイベント周知を



多くの買物客でにぎわったイベント会場



も〜くんが来場者呼び込みに役かいました

行ったことに

より、たくさんの来場者が集まるようになり、試飲さされた方から

「いつも飲んでる牛乳よりおいしい！」「お土産に買っていくよ！」などの言葉をいただきました。また、商品を購入していただいた方には、ミルクとオリジナルティッシュを配布し大いに喜ばれました。



試飲、試食は全品売り切れとなりました

試飲・試食用の商品は全てはけると共に、店頭においてある商品も平日の売上に比べると2倍以上になったと東急店よりお礼の言葉をいただきました。

## 自分達の牛がどのように治療されているの？

### 青年部会管内視察研修

青年部会（久保光大部会長）では、若き青年部員の知識向上及び部員間交流を目的にNOSAI根室南部事業センターへの視察研修を5月26日（火）行いました。

視察研修では、中尾センター長にNOSAIの施設や診療までの仕組みなど、わかりやすく説明をしていただきました。

現在、NOSAIで行っている「診療前のメールお知らせ」についてなど、どのように各農家を獣医さんが診療に廻っているのか、各農家の診療データはどのように管理され、運ばれた牛はどのように治療されているのかなど、部員達は興味心身でセンター長の説明を聞き、質問や疑問などをぶつけ、意見が飛び交う活発な視察研修となりました。



中尾センター長の案内で診療や仕組みがわかりやすく説明されました

イベント開催の影響を感じることができました。消費拡大運動の一步として行った今回の試飲試食会を通し、別海の知名度をあげることができ、また、消費者と生産者を繋ぐ貴重な場にもなりました。参加された青年部・女性部の皆さんお疲れ様でした。



女性部も対応に大忙しでした



根室地区  
青協主催

今回で3年目となる教育大生ファームステイが、根室地区青協主催で5月29日(金)～31日(日)にかけて開催されました。当地区では、中春別地区の相澤牧場と美原地区の荒牧場に各2人ずつ合計4人の先生の卵である教育大生がファームステイに訪れました。

# 子供達に食育を伝える先生が ファームステイで農業体験

## 1日目

バスで受入会場に集まった学生達は、どこか不安げな表情を見せる学生や、早くファームステイに行きたい元気な学生など、様々な



地区青協役員より農家実習の一通りの説明が行われました

思いで入村式を迎えました。事前学習会では、地区青協役員による「牛乳が家庭に届くまで」や「牛舎での注意事項」の説明が行われ、学生達は真剣な眼差しで、ひとつ一つの説明をメモを取りながら講義を受けました。

## 北海道教育大釧路校ファームステイ受入事業

学習会の終了後、受入農家と学生との顔合わせが行われ、1泊2日でお世話になる酪農家と握手をしてファームステイの意気込みを伝えました。入村式が終わると、まっすぐ牧場に向か

い酪農実習がスタートしました。

初めての農作業に戸惑いながらも、これから行うひとつ一つの作業の意味を丁寧に説明をした後、学生たちは、一所懸命に作業をこなしました。牛舎仕事を終えた学生たちは、初めての農業体験についての感想などを話しながら受入れ農家と夕食を囲み、1日目が終わりました。

## 2日目

早朝、眠い目を擦りながら牛舎に集まった学生達でしたが、作業が始まると前日とは違いコツをつかみ、あつという間に作業を終わらせ、お世話になった農家さん宅を後に、女性部との料



▲受入れ農家との顔合わせ

◀初めての作業に戸惑いながらコツをつかんだようです



理教室会場へと向いました。料理教室では、牛乳を使った簡単お菓子作りとして「ミルクもち」と「チーズせんべい」を女性部のみなさんから教わり、2日目の宿泊先である川北ふれあいセンターで酪農体験の振り返り講義を行い、体験学習を終えた仲間達と語り合い2日目を終えました。

## 3日目

最終日は、受入農家さんとの交流会として昼食にパーベキューが用意され、酪農実習中は作業を間違わない

でこなす事に精一杯で、ゆつくりと話を聞けなかったことなど、いろいろな話をして交流を深め、食の大切さや人とのつながりの大切さなどを学びファームステイで農業体験が終了しました。ファームステイ受入れに当り、快く引き受けてくれた相澤さん、荒さん、ご家族のみなさん、ご協力ありがとうございました。



# 美と健康について学びました

J A根室地区女性部研修会

J A根室地区女性部研修会が6月11日(木)、中標津町マルエー温泉 依橋ホールにて開催されました。「カラダの中も外も健康に美しく!

「カラダの中も外も健康に美しく!」  
 専門家から学ぶ栄養・サプリメント・美容「」をテーマに、J A北海道厚生連の方を講師としてお呼びし、スキンケア・メイク講座と酵素に



頭皮に化粧水をつけてマッサージすると髪の毛も元気に



真中道子氏によるメイク講座

ついでに講演をしていただきました。  
 午前中は、J A北海道厚生連テクニカルアカウトトレーナーの真中道子氏より講演をしていただき化粧水を頭皮につけてマッサージをす

ると髪の毛に元気がでることや、ホウレイ線に効くストレッチの方法などを教えていただきました。  
**チークと口紅がポイント**  
 中でも参加者の方が真剣に聞いていたのはメイク講座です。真中氏が「お化粧を綺麗に見せるためにはどの部分に気を付けると良いと思いますか?」との質問に、リップ・眉などの意見がでしたが、



澤田雅弘氏による「酵素について」の講演がありました

でなくてはならないものということや、その体内酵素は一生において作られる量が限られており、消費を節約するには腹八分目の食事を心がけることや、食べ物で補うことができることを教えていただきました。  
 今回の研修会で美意識と健康意識が更に高くなったのではないかと思います。参加された皆さんお疲れ様でした。

実はチークと口紅だそうです。チークは頬に直接塗ると色が目立つてしまい浮いた印象になってしまいがちですが、こめかみで濃い色をはらうてから頬に移動させることにより自然な仕上がりになり、しかも横顔が綺麗に見えるようになるそうで、会場からは驚きの声があがっていました。  
 昼食後はJ A北海道厚生連配置薬部主任薬剤師の澤田雅弘氏に、酵素についての講演をしていただきました。体内酵素は車でいうとバッテリーのようなもので、生命を維持していく上でなくてはならないものということや、その体内酵素は一生において作られる量が限られており、消費を節約するには腹八分目の食事を心がけることや、食べ物で補うことができることを教えていただきました。



風をきつて笑顔がはじける



豊原運動会



スタートダッシュ  
全力疾走!



気持ちのいい陽射しのもと、子供から大人まで  
大地を蹴って全力で走りました!!



日差しがやさしくさす青空のもと、豊原地区あけてのイベント・豊原地区運動会が5月30日(土)に盛大に開催されました。  
当日の運動会には園児から大人たちまでを対象とした各種競技が行われ、園児による選手宣誓で幕をあげました。  
始めの競技は保育園児のかけっこ、小学生から一般の100メートル走から始まりました。子供達の一所懸命に走る姿に会場から「頑張れ!」と声援が送られ、大人たちも負けじと力走を繰り広げました。



# 豊原地区・気持ちが一いつになって、駆けぬけた運動会



笑顔の中に  
真剣さも



子供たちもお父さん、お母さんと一緒に競技に  
喜びいっぱいです!



次に園児達による大玉転がしでは、自分の体より大きな大玉を転がすのに悪戦苦闘する姿がとても印象的でした。

また、園児たちによる遊戯「どきドキ★カーニバル」は、可愛らしくあどけなく踊る園児たちのその姿を記念におさめようと、カメラやビデオを片手に撮るお父さん、お母さん。そして賞品係のおいしいちゃん、おばあちゃんも孫の踊りに釘付けになりました。その後は、「みんなが賑やかに楽しく参加できる「借り物競争」や「玉入れ」、「パン食い競争」などの競技でひと汗かいた後は、親子で参加の「とよはら魂」、園児達の「ごほうびなあに」で運動会は終了しました。

お昼からの懇親会ではみんなで美味しいお肉を囲み楽しいひとときを過ごしました。



# 来たる秋のシヨウウに向け、 熱い戦いが繰り広げられる

中春別共和育成牧場においてJA中春別乳牛共進会が6月6日(土)に開催されました。

開催に先立ち牛魂祭並びに農作業安全祈願祭が参列者により執り行われました。

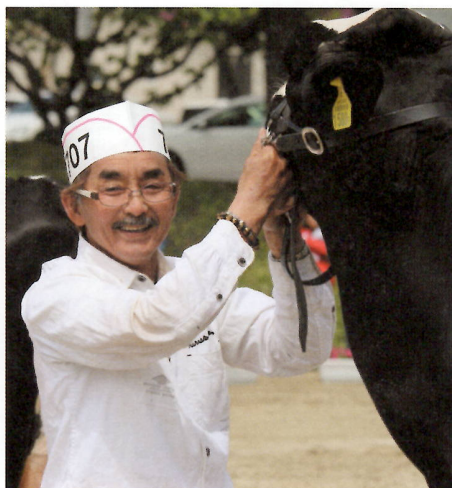
当日は晴天にも恵まれ出品者の皆さんが日頃より丹精込めて育て上げた44頭が集結しました。審査員には(一社)ジェネティクス北海道道東事業所長・藤田功氏があたられ、出品牛1頭1頭に対して丁寧にあドバイスし、わかりやすい審査講評をしていただきました。

審査の結果、シニア・チャンピオンに中西裕哉さん出品「プレゼント メダリスト ダーハム ロイ」、ジュニア・チャンピオンには山田光男さん出品「ライブリー K アツトウツドリリー」が輝きました。

共進会の中で開催されたジュニアリードマンシヨウウでは、自分の背丈よりも大



JA中春別乳牛共進会



笑顔でシヨウウに臨む山田博和氏



審査員の藤田功氏とデイリクィーンの菅野さんと丸山さん

## JA中春別乳牛共進会チャンピオン牛

	名 号	生年月日	出品者
シニア・チャンピオン	プレゼント メダリスト ダーハム ロイ	H21.8.12	中西 裕哉
リザーブ・シニア・チャンピオン	プレステージ ラスト チョイス ET	H25.4.14	久保 光大
ジュニア・チャンピオン	ライブリー K アツトウツドリリー	H26.7.19	山田 光男
リザーブ・ジュニア・チャンピオン	セイコー ロクセツト スタンドアウト	H25.12.30	宗像 卓朗



施設の概要を説明していただきました

今回の研修先には、標茶町、JA標茶町、雪印種苗の出資により平成25年11月に設立された農業生産法人(株)TACSしべちやへ視察いたしました。この法人は生乳生産はもとより低コスト生産技術の実践・普及、また、担い手

3地区酪農振興会では6月1日(月)に41人が参加のもと、会員の知識と技術向上並びに良質乳生産の意識を高めるため合同視察研修会を開催いたしました。

技術・知識、  
良質乳生産の意識  
向上を高める

3地区酪農振興会合同視察研修会





きな牛に臆さずリードする姿は頼もしく、続いて行われた女性リードマンシヨウでも堂々としたリードで会場を魅了し大いに沸かせました。

また、お昼には青年部によるサイコロステーキ、女性部によるミルク豚汁の無料提供に会場はおいしい食事に大満足の様子でした。

出品者の皆さんは春のシヨウも一段落されたと思えますが、8月下旬からスタートする秋のシヨウに向けて英気を養い、来たる全道共進会、さらには10年ぶりに地元北海道にて開催される全日本ホルスタイン共進会に向け突き進んでいただきたいと思えます。



#### JA中春別乳牛共進会成績(1等1席)

部	名	号	生年月日	父	牛	出品者	
1	YMD	パイロット	フリーズ	シャイン	H26.9.17	ダケツト-SA アツドウト フリーズ ET	山田 博和
2		ライブリー	K アツドウト	リリー	H26.7.19	メープルダウンズアイ G W アツドウト ET	山田 光男
3		ユキナシ	アイオーン	マツト	H26.5.10	ミッドフィールド CCM アイオーン	佐々木靖裕
4		セイコー	ロクセツト	スタンドアウト	H25.12.30	レーガンクレスト S ブラクストン ET	宗像 卓朗
5		プレゼント	デコール	ゴールド ニツク	H25.9.27	レーガンクレスト GV S プラツトニツク ET	中西 裕哉
6	YMD	ソブリン	マスターピース	マミヤ ET	H24.12.9	モーサン マスターピース	山田 博和
7		プレステージ	ラスト	チョイス ET	H25.4.14	ゴールデンオークス ST アレキサンダー ET	久保 光大
8		プレゼント	ラツキー	ホット アイオーン	H23.9.3	ミッドフィールド CCM アイオーン	中西 裕哉
9		スウィートブライアー	サンシャイン	ゴテン 08 ET	H22.9.25	プレイテール ゴールドウイン	竹田 潤
10		プレゼント	メダリスト	ダーハム ロイ	H21.8.12	ロイレーン ジョーダン ET	中西 裕哉

最多出品者賞 山田 博和 牧場(6頭出品)  
 最優秀ジュニアリードマン 牧野 かれん さん(保護者:牧野 修二)参加者11人  
 最優秀女性リードマン 中西 晴香 さん 参加者9人

指していくとのこと。付帯施設には廃校となった学校を改修し、新規就農を目指す酪農研修生の宿泊施設・座学研修施設として使用されており、現在は2人が入所しているとのことでした。

視察終了後には、会員同士の交流を深めることを目的にグリーンヒル多和にて昼食をとり、収穫作業前のひと時の休憩となったのではないかと思います。



施設を視察する参加者たち

育成の場として設立されました。

牛舎には300頭規模のフリーストール牛舎に18頭Wパラレルパーラーを起用しており、すでに牛乳生産を行っていました。

育成舎は現在改修工事が進められており、今後は育成牛200頭規模を目





第30回 4才以上クラス

# ホルスタイン写真 コンテスト

中春別乳牛改良同志会(竹田潤会長)では、毎年好評  
であります「ホルスタイン写真コンテスト(4歳以上ク

ラス)」を行いますので、投票要項に注意してお早めに  
応募してください。

## 予想投票応募要項

1. 同封しています予想投票用紙に6頭の序列付を行い、  
その牛の該当記号(A~F)を記入して下さい。また、  
ベストアダーについても記入して下さい。
2. 全問正解者、また、正解率の高い方に賞品を贈呈致  
します。なお、正解者多数の場合は抽選により決定  
いたします。
3. 住所、氏名、記号は、はっきりわかりやすく記入し、  
投票用紙を畜産課(畜産指導係FAX76-3006)ま  
たは、授精師にお渡しください。
4. 応募〆切は、7月31日となっておりますので期日厳  
守にて応募してください。





根室農業改良普及センター  
**営農対策情報**

# 抗生物質混入に注意を！

今月は牧草収穫から肥料散布と忙しい時期です。皆さんの疲れもピークに達するころだと思えます。疲れが溜まってくると、事故も起こりやすくなります。誤って乳房炎治療牛を搾乳し、生乳に抗生物質混入が起らないよう、徹底した対策を行いましょう。

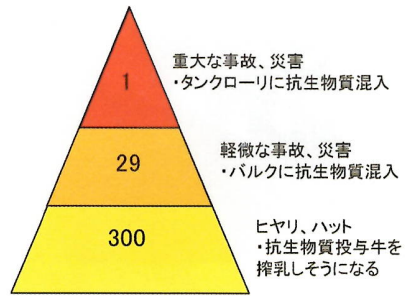


図1 ハイインリツヒの法則  
 ※1件の重大な事故、災害の背景には29件の軽微な事故、m災害、300件のヒヤリ、ハットが起っていると考えられる。

## 1 根室管内の抗生物質混入状況

根室管内の抗生物質混入事故は毎年十数件発生しています(表1)。1件の事故の背景には300倍のヒ

表1 根室管内の抗生物質混入事故状況 (根室家畜衛生保健所調べ)

年度	件数	主な混入理由
24	15	マーキングし忘れ(2件) マーキングの見落とし(6件)
25	16	マーキングし忘れ(4件) マーキングの見落とし(6件)
26	13	マーキングし忘れ(1件) マーキングの見落とし(8件)

ヤリ、ハットの出来事が起っていると  
 と言われています(図1)。  
 抗生物質混入は決して人ごとではなく自分の農場でも起こりえることなので、十分注意する必要があります。

## 2 抗生物質混入を防ぐために

根室管内では「マーキングのし忘れ、見落とし」が抗生物質混入の大きな原因となっています(表1)。2重、3重の防止対策を実施し、確実に抗生物質が生乳に混入しないようにしましょう。

### (1) 牛体へのマーキングの実施

マーキング作業は抗生物質投与前に行いましょう。投与後にマーキ

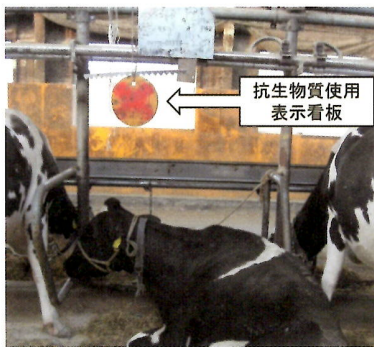


写真3 看板の設置



写真2 足バンドの装着

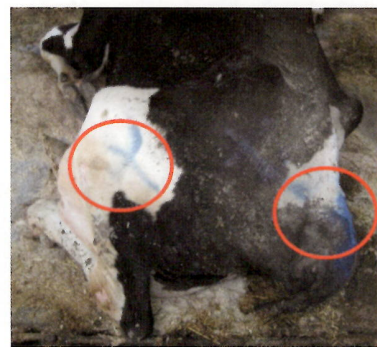


写真1 牛体へのマーキング

ングをすると、マーキングのし忘れや、別の牛へ間違つてマーキングをしてしまう恐れがあります。  
 対策として乳房や牛体後躯に赤や青等目立つ色でマーキングをする(写真1)。足バンドをつける(写真2)。他に牛の目の前に看板を吊す方法もあります(写真3)。これらのことを最低2つ以上実施して、確実にマーキングの見落としを防ぎましょう。

### (2) 搾乳作業者同士の周知徹底

治療牛や分娩牛の搾乳者が入れ替わる農場では、作業者同士の引継は重要です。日頃の声かけや報連相の時間を取りながら周知徹底しましょう。全作業者が確認する連絡ボードに記載することも有効です。またバケツトミルカーの取り間違いで抗生物質が混入した事例もあります。バケツト搾乳者が責任を持って廃棄乳を処理しましょう。

たとえ抗生物質がミルクローリに入らなかつたとしても、バルクの生乳を廃棄することは、経営にも精神的にも大ダメージとなります。慣れている作業だからこそ確認を忘れない十分気をつけて下さい。

抗生物質残留事故だけでなく、農作業事故にも十分気をつけて作業をすすめて下さい。





## 第31回 年金友の会通常総会・ スポーツ交流会

希望旅行先などの  
問い掛け、本年度夏  
と冬にお楽しみ会  
を企画している事  
などの報告があり  
ました。

続いて、小湊組合  
長、北海道信連組  
路支所宮本次長に  
祝辞をいただきま  
した。

豊原地区の高田珠夫さん  
を議長に選出し、スムーズ  
かつユーモアを交えた進行  
で、全議案承認され終了し  
ました。



会員からの質問に答える高橋会長

会長より友の会メイン行  
事であります春・秋の旅行へ  
の参加者が少ないことから、

中春別農協年金友の会(高橋昌晴会長)では、6月8日(月)  
に第31回通常総会を開催しました。

# 「仲間を増やそう」を 今年度の重要課題に!



ました。

会員から出されましたご  
意見、ご要望については役員  
会で協議し取り進めて行き  
ます。新規会員加入促進に  
ついては、本年度重要課題  
として取組みます。なお、役  
員改選があり、新役員は以  
下のとおりとなりました。

会 長 高橋昌晴(再)  
副会長 田口正己(再)  
" 尾形春雄(新)  
" 平間 勉(再)  
幹 事 木村和子(新)  
その他会計、幹事、監事に  
ついては再任となりました。

総会終了後は、中春別へ  
ルスパークにてスポーツ交  
流会を行いました。

パークゴルフでは、終始笑  
い声が絶えずプレイをして  
いました。ゲートボールは  
人数が少なく、ちよつと寂  
しい交流会でしたが、作戦  
を練りながら、真剣にゲー  
トを狙っていました。



狙い通りにゲートを通過しました

### 「パークゴルフ」

\*男子の部  
優勝 中村與之進  
準優勝 阪口九一郎  
\*女子の部  
優勝 原内律子  
準優勝 工藤晏子



整備された芝生の上でパークボールをみんな  
で楽しみました



男子の部入賞者の皆さん



女子の部入賞者の皆さん



## 年金友の会春季旅行

5月26日～29日の  
3泊4日

千年の歴史砂金山では、一攫千金を目指し、砂金掘り。取った砂金をキィーホルダーへ。たら



一攫千金を夢みて…砂金掘り



「疲れ様」東尋坊(国の名勝・天然記念物)では、自然の偉大さを感じました。最終日の宿



▲誕生日の杉谷さんへホテルからハイスティケーキがプレゼント  
▲名勝・東尋坊で記念撮影

泊は福井県あわら温泉。夕食の前にサプライズ。本日、誕生日の杉谷さんへホテル



3名園の1つ兼六園にて

からバースデイケーキ、友の会から細やかなプレゼント贈呈がありました。ご馳走をいただき(カニを食べている時は静か!)、お酒も多少入り、カラオケへ突入(皆さん、本当に上手)、ダンスも飛び出し盛り上がりました。会長から、「二次会!!」の声がかかり、最後の夜を大いに楽しみました。

### 最終日

天候に恵まれた旅もいよいよ最終日。お土産をトランク一杯に、小松空港から千歳経由で中標津へ。

参加者皆様の協力で、体調を崩す方もなく、無事、春季旅行を終えることができました。空港に着いて「楽しかったよ」と言っていた一言に、事務局感激。

これからの友の会行事にも多くの会員の参加をお待ちしています。

# ”自然と歴史の佐渡島・北陸満喫の旅“行ってきました!!

## 1日目 中標津空港から新潟まで移動

中標津空港から千歳を経由し、新潟空港まで。新潟港から、ジェットfoil(高速船)で佐渡両津港へ。所要時間1時間(速い!)。

1日目は、朝から移動で疲れ、夕食後、温泉にゆっくり浸かり、就寝。

## 2日目 佐渡観光

露天風呂より、日本海の日の出を見て感動!今日1日、佐渡観光。

佐渡と言えば、天然記念物トキを見て、妙宣寺へ。地酒の酒蔵に向き、試飲を楽しみ、お酒をお土産にと宅急便で。

い舟では、女性船頭さんの見事な権使いに誘われ、参加者もやってみましたが、中々前には進まず、回転しないたらいい舟ばかり?

まだまだ佐渡にいたかったかもしれないが、小松港からフェリーで、新潟直江津港へ到着(島流しでな

くて良かった。

## 3日目 金沢・東茶屋街

朝食を済ませ金沢へ向けて出発。風情ある東茶屋街を散策し、日本の3名園の一つ兼六園では、ガイドさんの説明を受け、庭園を一周

しました(お疲れ様)。東尋坊(国の名勝・天然記念物)では、自然の偉大さを感じました。

最終日の宿



今回、中春別サポート協議会に3人の女性研修生が入りました。北海道の広さに驚きながら、初めて牛を触り、農作業に汗を流しながら「農家さんに頼られる人になりたい」と張り切っています。そんな3人をレポートしてきましたのでご紹介いたします。

## 農家さんから頼られる人になりたい。

荻原亜由美

長野県出身の20歳の亜由美さん、幼少期は近くの公園で遊ぶなど活発な少女で、実家ではイヌ、ネコ、ウサギを飼っており、その他に毎年クワガタを飼っていたそうです。

「時期になると玄関先に

クワガタが来て、おばあちゃんや「今年はどうするんだい?」と聞いてくれるので、私が飼うと言うとおばあちゃんやクワガタにバケツをかぶせてくれて、虫かごの準備が整ったら捕獲します」と話してくれました。幼い頃から動物と関わってきた亜由美さんは、ずっと動物に係わりのある仕事に就きたかったということで、高校卒業後は東京コミュニケーションアート専門学校に入學します。そこで大和田めぐみさんと知り合ったそう

で、「オープンキャンパスで見かけた時から、かわい子だなって思っていたんですが、そこでは話しかけれなかつたんです。入学して同じクラスになったので、私と友達とで話しかけて仲良くなりました」と教えてく

れました。

北海道に来て信号機が少ない事にびっくりしたり、最近では「農家さんと一緒にワラビを採りにいったのが、と

ても楽しかったです」と笑顔で話してくれました。

そんな亜由美さんはお菓子、料理を作るのが好きなので、時間があればキッチン、オムライス、シユ、オムライス、クラムチャウダー、チーズケーキなどを作ったり、以前もんじや焼きパーティーを開催した時には、もんじや焼きの粉を使わず小麦粉で生地を作ったそうです。

搾乳機も徐々に覚えてきて、手際も良くなっている亜由美さん

「作ることで満足しちゃって自分ではあんまり食べないんです。クックパッドさんにはいつもお世話に

なってます」と苦笑い。「これからは受入農家さんに頼ってもらえるような人になり



亜由美さん手作りの料理

たいです」と今後の意気込みを話してくれた亜由美さんでした。

## 驚くことが多かった北海道。仕事を安心して任せてもらえる人に。

大和田めぐみ

茨城県出身の20歳のめぐみさんは、幼少期はお兄さんと新聞紙で作ったバットを使って野球をしたり、ゲームをしたりして遊んでいたそうです。兄の上に姉がいるのですが、幼い頃はあまり仲が良くなく、殴り合いの喧嘩をしてはめぐみさんが泣いてしまい2人でお母

中春別営農サポート協議会の新しい研修生を紹介しします

# いろんなことに驚く北海道、 楽しく酪農を体験・勉強してきます。



さんに怒られていたそうです。「今では仲良しですよ！」とめぐみさんは言います。実は最初は美容師になりたかったそうで、進路を決



農家さんの信頼を得て、仕事を任せてもらえる人になりたいと言うめぐみさん

める時すごく悩んだめぐみさん。そんな時、友人からパンドのグッズをプレゼントされパンドを好きになり、それが東京コミュニケーションセンター専門学校に入学するきっかけになったようです。北海道に来てからは自然がとても豊かなことに感動し、アクティブハウスに「野

友達の誕生日のプレゼントにとめぐみさんが描いた絵



生動物に注意！との貼り紙が出た時は北海道らしいと

感じたそうです。また、物を捨てることを「投げる」という北海道の方言に戸惑ったようで、「最初聞いたときはびっくりしました。えっ!? 投げるの!? って思いました」と笑って話してくれました。

同じ時期にサポート協会に入った渡辺有紀さんについては、「古着が好きそうな人だなんて思っていて、早くお話がしたかったです。思った通りの人で安心しました」と、仲良くなった経緯を話してくれました。趣味は今、探している途中というのですが、「冬になったらスノーボードに挑戦してみたいです」と話してくれたいめぐみさん。その他に絵を描くことが好きで「絵を描くと言っても模写で、描くことがあっても人に渡す誕生日プレゼントに使うとか、そんな目的がないと描かないです」と話していただ

き、また、今後の目標については、農家さんにとって仕事を任せられるような人になりたいですとのことでした。

## 研修先の農家さんの技を盗んじやおう

渡辺 有紀

千葉県出身の有紀さん20歳、幼少期は外へ遊びに出す両親だったので、兄弟と一緒に外でサッカーやドッジボールをして遊んでいたそうです。5人兄弟の上から2番目の有紀さんは、兄弟

の中でお母さんのような存在だったそうで、「私は家族大好きだったので兄弟喧嘩をした記憶はあまりないんだけど、他の兄弟はしょっちゅう喧嘩をしていて、その度に私が止めに入っていました」そんな有紀さんが動物関係の仕事に就きたいと思っただけは、小さい頃、遠足に行つた牧場で牛に惹かれたからだそうです。「家では兄妹がアレルギー持ちという事もあってペットが飼えなかつたので、その反動でこんなに好きになつたん

だと思えます」と、はにかんだ笑顔で答えてくれました。

有紀さんは北海道の人はすごく訛っているイメージがあつたそうで、引越してきてから標準語に近いしゃべり方で驚いたことと、道路脇に車を停めて山菜を採る光景にもびっくりしたそうです。「農家さんから山菜料理を分けてもらったのですが、料亭で食べるような山菜料理の数々。ウド、ヨギミ、ワラビにフキどれがどの山菜かはわからなかつたのですが、とてもおいしかった

です！」と北海道の旬の味に大満足。

北海道に来てから出会つた萩原さん、大和田さんについては「私は勝手に気が合いそうだなって思つてました！ 仲良くなれてよかったなと思つてます」と笑顔で話してくれました。

そんな有紀さんはスケボーが好きだそうで、「引越して先では使わないだろうなと思つて、今まで使つたスケボーを実家に置いてきてしまつたのですが、北海道にきて結局新しいものを購入

しちゃいました。スケボーは板とかタイヤを自分の好きなようにカスタムして作ることができるので、いざ自分だけのスケボーを作る予定です。これからはいろいろな農家さんを研修させてもらつて、技を盗んでいきたいと思えます！」と今後の目標とともに語っていただきました。



北海道の旬の味に大満足！ 農家さんの技を自分の者にしたいと言う有紀さん





ときより涼しい風が吹き過ごしやすい天気の下、子供達が待ちわびた、中春別小学校大運動会が6月7日(日)に開催されました。

# 子供も大人も熱くなつた競技

## 中春別小学校運動会



開会式のオープニングを飾る聖火の点灯

で運動会の開幕を告げると、全校児童によるラジオ体操で体を温め、第1の競技である徒競走がスタートしました。子供達は日頃の練習の成果を見に来てくれたお父さん、お母さんに披露し、会場から「いいぞー頑張れ」と声援を背にゴールテープを切りました。

次にロープが付いた大小のタイヤを多く集めて得点を競う「勝利を目指して」では、3年生〜6年生が一体となり、各チーム戦略を練って競技がスタートしました。小さいタイヤを数多く集めて

て得点を稼ぐ赤組さんや、大きなタイヤに全勢力をそそぎ一発逆転を狙う白組さんと各チームの特徴が出た競技で、会場からは歓声が出るほどの盛り上がりを見せました。

会場があたたまったころ、6年生の親子競技「ドキドキタイフーン」がスタートしました。子供達は、軽快な走り大人達を引き離しリードする場面もありましたが、まだまだ子供達には負けてられないと、後半から本気を見せたお父さん達のものすごい追い上げを見せ、まだまだ親の壁は高いことを見せつけました。

今年も天候にも恵まれ、すべての競技が無事に終わることができました。運動会の結果については、赤組さんが勝利を掴み取り、惜しくも負けてしまった白組さん来年こそ勝利を勝ち取ってください。



今年も天候にも恵まれ、すべての競技が無事に終わることができました。運動会の結果については、赤組さんが勝利を掴み取り、惜しくも負けてしまった白組さん来年こそ勝利を勝ち取ってください。



「勝利を目指して」の競技名の通り力いっぱい頑張りました



### ●【経営科】校内意見発表大会が終了!

5月20日(木)、農業クラブ三大行事の最初の行事となる校内意見発表大会が本校体育館で行われました。審査員として、根室農業改良普及センター長尾様、別海町役場産業振興部の佐竹様をはじめ5人の方々の協力を得て行われました。

発表は各学年から学級内発表会を経て選ばれた4人の計12人が、食料・生産、環境、文化・生活の3部門に分かれ自分の平日頃考えている意見を7分間にまとめて堂々と発表しました。各区分の代表となった生徒は、8月20日に更別村で開催される全道兼東北海道意見発表大会に出場します。各区分の最優秀賞は次の通りです。



発表の様子

#### 【食料・生産】

「将来の夢～酪農家出身調理師としてできること～」

3年 森 隆寛

#### 【環境】

「私の町のポイ捨て問題」

1年 守谷 美紅

#### 【文化・生活】

「命を育む幼稚園教諭を目指して」

3年 漆原 望美

### ●【経営科】ふれあい祭りに参加!

6月13日(土)には道東あさひふれあい祭りに参加しました。一昨年からご厚意で参加させていただいておりますが、今年も花苗、野菜苗、寄せ植えなどを販売させていただきました。今年は地元の酪農家のご厚意で生徒がウシのリードを経験させていただくなど、大変有意義な勉強をさせていただきました。当日は、たくさんの町民の方がお見えになり、大変盛会でありました。今後もこうした地元のイベントに積極的に参加していきたいと思



たいと思います。

### ●【専攻科】「農業特別専攻科学生研修会」が開催されました!

5月14日(木)～15日(金)に農業特別専攻科学生研修会が富良野緑峰高校を当番校にして行われ、両校専攻科学生の合計26人が参加



富良野緑峰高校の学生と一緒に

しました。道内に2校しかない農業特別専攻科の学生同士の交流を深め、研修から多くのことを学ぶことを目的に、富良野緑峰高校専攻科との間で行われているもので、今年で41回目を数えます。

1日目は富良野緑峰高校体育館とハイランドふらにて交流会を実施し、酪農業と畑作業という農業でも内容の大きく違う互いの経営スタイルについての積極的な意見交換と、レクレーションなどを実施しました。



ファーム奥平 アスパラガス収穫体験

2日目はファーム奥平にて、畑作の説明とハウス内のアスパラガス収穫体験をさせていただきました。また、JAふらの

の研修室にて販売戦略について、講義していただいた後、フラノマルシェにて顧客のニーズに沿った農産物販売システムの実際を見学しました。初めは富良野緑峰高校の学生達との間にやや緊張感の残るスタートでしたが、少しずつ緊張も解け、交流会や合同の視察研修をとおして、すっかり意気投合する両校の学生の姿がありました。両校学生とも、今後の農業経営のヒントを多く学んだ研修となりました。

### ●【専攻科】農業機械高度利用研修受講

北海道立農業大学校において農業機械高度利用研修6月1日(月)～12日(金)が実施され、初級と中級を1年目学生の下元翔太さんが受講しました。中級では研修最終日に行われる技能検定試験に合格すると北海道農業機械士の資格を取得することができます。毎日浜中町から通学している下元さんは研



研修(中級)を終えて

修会終了後、「専攻科在学中に、溶接講習や酪農に関わる資格取得にも積極的にチャレンジしていきたい」と力強く語っていました。



# A T I O N

## J A 中春別植樹祭

### 森・川・海を一つに豊かな自然環境づくり

森・川・海をひとつに豊かな自然環境づくりを合言葉に、JA中春別では6月9日(火)美原地区の土砂緩0.3haにおいて植樹祭を行いました。

当日は曇り空のなかの開催ではありましたが、組合員をはじめ別海町、野付漁協組合、根室振興局、釧路開発建設部、別海町森林組合など多数の関係機関より参加いただき、約100人の参加者が750本の苗木(イヌエンジュ、ドロノキ、ヤチダモ、ケヤマハンノキ、ミズナラ、ヤナギ、マカバ)をスコップ片手に額に汗をにじませながら1本1本丁寧に植樹いたしました。

最後に10年後、20年後に苗木からたくましい木々へと生育するのをお願い、小湊組合長、佐藤副町長、西川河川委員長、兼松青年部長、斉藤女性部長による標柱杭を立て、植樹祭は幕を閉じました。

今後も中春別地域河川流域環境保全推進委員会を中心に、環境に配慮した資源循環型酪農の推進を行う計画でありますので、皆様のご協力をお願いいたします。参加されました皆様お疲れ様でした。



▲参加者に苗木の植樹方法を指導  
▼植樹祭の標柱杭を立てました

## 豊かな森を子供たちの未来に

### 別海町植樹祭

毎年開催されています別海町主催による植樹祭が5月30日(土)に床丹において、多数の参加者のもと盛大に開催されました。

当日は曇り空のなかの開催ではありましたが、当地区組合員・職員合わせて15人程が参加し、0.43haの畑にアカエゾマツ1100本の植樹を行いました。

筐の根が張り巡らされ、スコップが思うようにささらず何度もさしたりと苦勞する場面もありましたが、無事にすべての苗木を植樹することができました。



多数の参加者がおさかな殖やす別海町植樹運動に協力しました

## 広い牧草地での〜んびり、大きく育てよ

今年も青空の下で、夏期預託牛の入牧が6月1日(月)に共和育成牧場にて行われました。

早朝から家畜車に揺られて、元気いっぱいな牛達が共和育成牧場に集められ、1頭1頭丁寧に降ろされた後、個体識別番号とネック番号の確認や、授精牧区毎に振り分けられ、広大な牧草地帯に放牧されました。

今年は298頭の牛達が共和牧場に預けられ、新鮮な牧草を食べて道東の夏を過ごし、また秋に我が家に帰る頃には、一回りも二回りも成長した姿で、組合員の皆様のもとへ帰っていくことでしょう。



各組合員さんから運び込まれる愛牛たち



## 酪農家の仕事と人の温かさを 感じた実習となりました

新規採用 橋本 圭司



3カ月間の試採用期間を経て、この度、新規採用となりました橋本圭司です。試採用期間中は畜産課で事務作業業務や、人工授精師として先輩方から現地での技術指導や対応などいろいろ勉強をさせていただきました。

また、6月8日～12日の期間で遠藤理事のお宅で酪農家実習をさせていただきました。酪農家の仕事を経験させていただいたことや、家畜人工授精師として1日中牛の行動を観察し、発情兆候を自分の目で確認しながら直腸検査をすることはなかなかできないので、貴重な時間をいただき大変良い勉強になりました。実習中は主に配合飼料を給与したり、牛舎内の掃除、草刈、哺乳、搾乳前の乳頭清拭など様々なことを体験させていただきました。

初日は一つひとつ仕事を教えていただきながらも、ミスをしたりしてしまっていたので、たくさんご迷惑をかけてしまいました。2日目は遠藤理事と植樹のお手伝いをさせていただきました。3日目以降は徐々に仕事もスムーズにこなせるようになり、自分から積極的に行動することができました。そして4日目の夜には遠藤理事のご厚意により食事に連れて行っていただき、ご家族の方々には本当にお世話になりました。

私が酪農家実習で特に印象に残っているのは、休憩から戻り牛舎に行くと、牛が首を鎖に引っ掛

けてしまい死んでいたことです。このことから私は人工授精師として、一人で酪農家を巡回するときには授精業務だけでなくこのような事故を少しでも減らせるように、見ていける範囲で牛舎の確認などをしていきたいと思いました。

今回の実習ではたくさんの方を経験させていただいたり、普段なかなか見ることのできないものを見たり、非常に濃い時間を過ごさせていただきました。遠藤理事や貢紀さんには作業のことや農協職員としての心構えなど様々なことを教えていただいたり、奥さんには毎日、美味しいご飯を作ってもらったりと、酪農家の仕事を知るだけでなく、人の温かさなども感じられる実習となりました。

最後になりますが、3カ月間の試採用期間で酪農家実習や人工授精業務を経験した中で取組んできたことや、得た知識を活かし、まだまだ未熟者ではございますが1日でも早く一人前の人工授精師になれるよう、一所懸命頑張っていきますので、これからよろしくお祈りします。



「貴重な体験と時間を経験させてもらいました」と話す橋本君

## 今年も1番草収穫作業がスタート

今年度も6月15日より中春別の1番草の収穫作業が、例年より6日早くスタートしました。今年度の生育状況について、根室改良普及センター調査では、チモシーの出穂期が17日に確認され、収量についても例年並みか、やや多い収量が見込まれると発表がされました。

酪農家にとっては、1年間でもっとも忙しい収穫期を迎え、睡眠不足や疲労困ぱいの中での作業が続いていると思いますが、ケガや事故には十分気をつけて1番草の収穫を行ってください。



天気予報とにらめっこが続く収穫作業

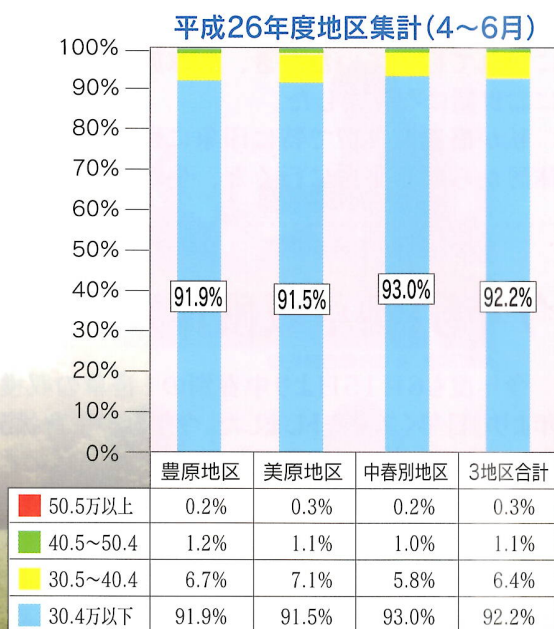
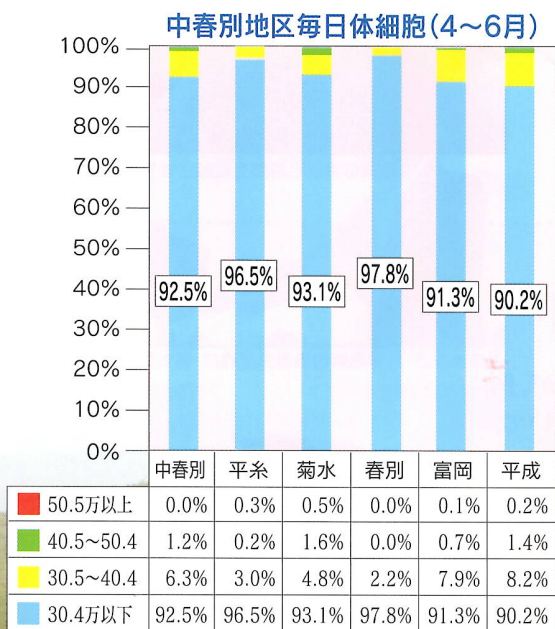
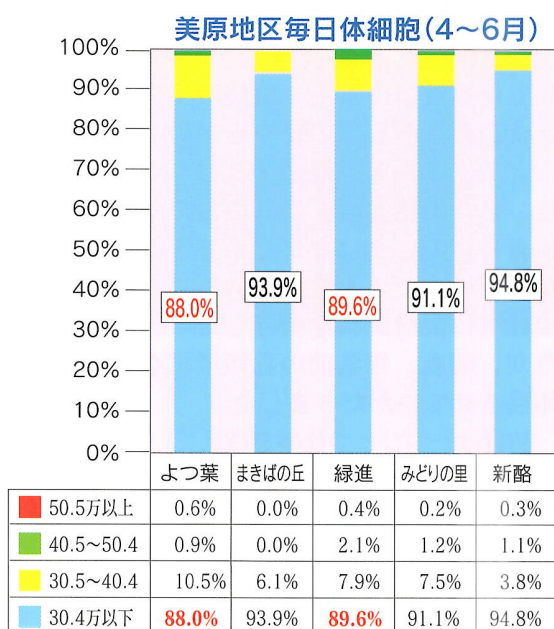
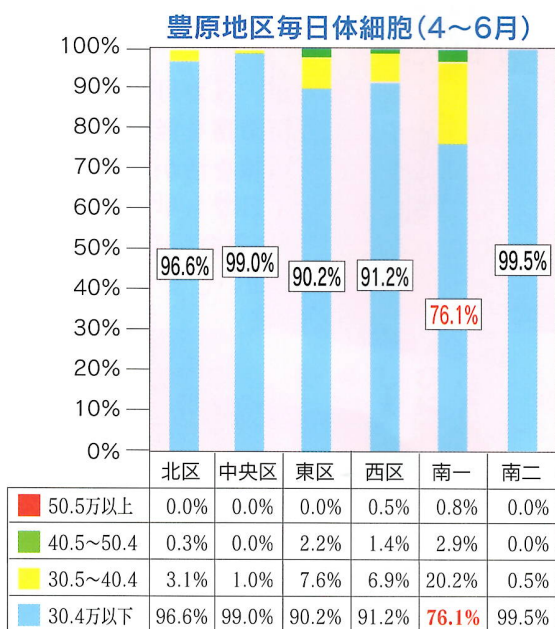




生乳汚染事故を無くそう！

- 抗生物質混入事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では**2**件です。
- 生菌による汚染事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。
- 異物混入、加水、**血乳**による汚染事故…… JA中春別発生件数 0件 管内合計では**1**件です。
- 異臭、異常風味による汚染事故…………… JA中春別発生件数 0件 管内合計では0件です。

**暑熱対策は大丈夫ですか？**  
**<牛だってストレスは感じます>**  
**たくさん食べて、たくさん飲める環境作りで体力アップ！**  
**快適な畜舎環境は乳房炎予防にもなります。**





議案

1. 平成27年度理事報酬額の配分(案)並びに支給方法について
2. 平成26年度事業版ディスクロージャー誌による開示について
3. 酪農生産基盤確保・強化緊急支援事業について
4. 平成27年度酪農生産基盤確保・強化緊急支援事業に伴う資金の借入・貸付について
5. 平成27年度酪農生産基盤確保・強化緊急支援事業に伴う貸付について
6. 平成27年度酪農生産基盤確保・強化緊急支援事業に伴う貸付について
7. 平成27年度酪農生産基盤確保・強化緊急支援事業に伴う貸付について
8. 平成27年度酪農生産基盤確保・強化緊急支援事業に伴う貸付について
9. 固定資産の除却について
10. 固定資産の取得について
11. 平成27年度役員研修について

報告事項

1. 平成27年度試用採用職員の農家実習終了について
2. (社)北海道農協経営審査協会による内部審査報告書について
3. 平成27年度5月末酪農生産関連実績について

協議事項

1. 持続可能な北海道農業の確立に向けたJAグループ北海道の考え方(案)について
- 2.

5月 乳質乳価一覧表

(単位:円/kg)

			単価	算出基礎	支払乳価	前年同期	差
乳脂肪分			903.372		34.92	33.31	1.61
無脂乳固形分			570.509		49.88	47.51	2.37
補給金			4.9709		4.97	4.78	0.19
計画チーズ奨励金			1.6411		1.64	1.93	-0.29
乳質単価	生菌数	ランク1	2	322,982,507kg	3.71	3.73	-0.02
		ランク2	0	5,844,918.8kg			
		ランク3	-3	158,045.6kg			
	体細胞数	ランク1	2	277,199,675.5kg			
		ランク2	1	27,452,894.4kg			
		ランク3	-2	4,049,900.5kg			
合計					95.12	91.26	3.86

5月分乳代支払単価

項目	単価(円)/(kg)%	
乳脂肪分①	34円92銭	
無脂乳固形分②	49円88銭	
補給金③	4円97銭	
チーズ奨励金④	1円64銭	
脂肪率	全道	3.87%
	農協	3.95%
無脂固形分率	全道	8.74%
	農協	8.71%
成分乳価	全道	91円41銭
①+②+③+④=⑤	農協	91円96銭
乳質乳価⑥	全道	3円71銭
	農協	3円74銭
乳代合計	全道	95円12銭
	農協	95円70銭
⑤+⑥	差異	58銭







平成 27 年度

# 中春別農協・各組織役員名簿

組織名	役職	氏名	組織名	役職	氏名
理事会	代表理事	小 湊 保	中春別農協 年金友の会	理事	望 月 千 恵
	副組合長	藤 倉 紀 夫		理事	上 神 佳 代 子
	専務理事	佐 藤 武 英 永		理事	南 澤 原 幸 美
監事会	常務理事	大 山 月 武 英 寛 一	中春別乳牛 改良同志会	監事	木 関 口 昌 正 春
	理事	西 川 藤 崎 浩 二		副会	高 田 橋 口 形 間 勉
	理事	伊 遠 山 井 真 青 一 史		副会	尾 平 鈴 木 村 口 津 子
総務経済委員会	代表監事	平 荒 紫 藤 正 幸 彦 均 二 稔 夫 吉 一	農事組合長会	監事	山 口 潤 優 二 男 学 嗣 大 裕 和 覚
	外監事	望 遠 山 西 藤 伊 小 湊 倉 紀 夫 猛 永 彦 稔 寛 真 悟 吉 志 明 司 武 志 貴 悟 (会 計) 藤 道 清 良 有 広 松 真 貴 葉 田 倉 澤 保 西 井 荒 齋 藤 道 清 良		中央	渡 池 上 荒 中 松 北 長 尾 山 佐 柿 猿 小 齊 今
営農生産委員会	委員	西 川 倉 藤 伊 小 湊 倉 紀 夫 猛 永 彦 稔 寛 真 悟 吉 志 明 司 武 志 貴 悟 (会 計) 藤 道 清 良 有 広 松 真 貴 葉 田 倉 澤 保 西 井 荒 齋 藤 道 清 良	中春別酪農 対策協議会	代表	野 政 浩 (副 会 長)
労務委員会	委員	西 川 倉 藤 伊 小 湊 倉 紀 夫 猛 永 彦 稔 寛 真 悟 吉 志 明 司 武 志 貴 悟 (会 計) 藤 道 清 良 有 広 松 真 貴 葉 田 倉 澤 保 西 井 荒 齋 藤 道 清 良		委員	上 田 泰 治 理 志 孝 和 太郎 (会 長)
中春別酪農 対策協議会	会長	西 川 倉 藤 伊 小 湊 倉 紀 夫 猛 永 彦 稔 寛 真 悟 吉 志 明 司 武 志 貴 悟 (会 計) 藤 道 清 良 有 広 松 真 貴 葉 田 倉 澤 保 西 井 荒 齋 藤 道 清 良	中春別乳検組合	理事	北 中 東 西 南 南 北 長 尾 山 佐 柿 猿 小 齊 今
	副会長	西 川 倉 藤 伊 小 湊 倉 紀 夫 猛 永 彦 稔 寛 真 悟 吉 志 明 司 武 志 貴 悟 (会 計) 藤 道 清 良 有 広 松 真 貴 葉 田 倉 澤 保 西 井 荒 齋 藤 道 清 良		理事	中 東 西 南 南 北 長 尾 山 佐 柿 猿 小 齊 今
	常任委員	西 川 倉 藤 伊 小 湊 倉 紀 夫 猛 永 彦 稔 寛 真 悟 吉 志 明 司 武 志 貴 悟 (会 計) 藤 道 清 良 有 広 松 真 貴 葉 田 倉 澤 保 西 井 荒 齋 藤 道 清 良		理事	南 南 北 長 尾 山 佐 柿 猿 小 齊 今
中春別農協青年部	常任委員	西 川 倉 藤 伊 小 湊 倉 紀 夫 猛 永 彦 稔 寛 真 悟 吉 志 明 司 武 志 貴 悟 (会 計) 藤 道 清 良 有 広 松 真 貴 葉 田 倉 澤 保 西 井 荒 齋 藤 道 清 良	良質生乳生産 推進委員会	理事	野 政 浩 (副 会 長)
	常任委員	西 川 倉 藤 伊 小 湊 倉 紀 夫 猛 永 彦 稔 寛 真 悟 吉 志 明 司 武 志 貴 悟 (会 計) 藤 道 清 良 有 広 松 真 貴 葉 田 倉 澤 保 西 井 荒 齋 藤 道 清 良		理事	上 田 泰 治 理 志 孝 和 太郎 (会 長)
	常任委員	西 川 倉 藤 伊 小 湊 倉 紀 夫 猛 永 彦 稔 寛 真 悟 吉 志 明 司 武 志 貴 悟 (会 計) 藤 道 清 良 有 広 松 真 貴 葉 田 倉 澤 保 西 井 荒 齋 藤 道 清 良		理事	北 中 東 西 南 南 北 長 尾 山 佐 柿 猿 小 齊 今
中春別農協女性部	常任委員	西 川 倉 藤 伊 小 湊 倉 紀 夫 猛 永 彦 稔 寛 真 悟 吉 志 明 司 武 志 貴 悟 (会 計) 藤 道 清 良 有 広 松 真 貴 葉 田 倉 澤 保 西 井 荒 齋 藤 道 清 良	中春別酪農 対策協議会	理事	上 田 泰 治 理 志 孝 和 太郎 (会 長)
	常任委員	西 川 倉 藤 伊 小 湊 倉 紀 夫 猛 永 彦 稔 寛 真 悟 吉 志 明 司 武 志 貴 悟 (会 計) 藤 道 清 良 有 広 松 真 貴 葉 田 倉 澤 保 西 井 荒 齋 藤 道 清 良		理事	北 中 東 西 南 南 北 長 尾 山 佐 柿 猿 小 齊 今
	常任委員	西 川 倉 藤 伊 小 湊 倉 紀 夫 猛 永 彦 稔 寛 真 悟 吉 志 明 司 武 志 貴 悟 (会 計) 藤 道 清 良 有 広 松 真 貴 葉 田 倉 澤 保 西 井 荒 齋 藤 道 清 良		理事	南 南 北 長 尾 山 佐 柿 猿 小 齊 今



